

2025. 9. 12

【イベント報告】サンクゼールの森林整備活動 アレチウリ駆除を実施しました

「久世福商店」、「St. Cousair（サンクゼール）」などの専門店を全国に約 180 店舗展開している、食品製造小売企業（食品 SPA）の株式会社サンクゼール（本社：長野県飯綱町/代表取締役社長：久世良太）は、2025 年 9 月 10 日（水）に信濃町オフィス（長野県信濃町）を取り囲む自社の森「サンクゼールの森」で、サンクゼールパートナー（従業員のこと、以下パートナー）による森の整備を実施しました。



左：繁茂するアレチウリを手作業で除去

中央：パートナー有志 15 名が参加

右上：整備前 右下：整備後

「アレチウリ退治大作戦」パートナー有志 15 名が参加

今回は、「サンクゼールの森」に広がりつつある特定外来生物アレチウリの繁茂エリアを中心に整備活動を実施。「アレチウリ退治大作戦」と題して、パートナーの有志 15 名が手作業で駆除を行いました。

整備に先立ち、井浦和子先生から作業の目的や方法等のミニレクチャーを受けました。井浦先生は森の調査・保全活動にご協力いただいている井田秀行教授（信州大学教育学部森林生態学研究室）チームの一員です。北アメリカ原産のアレチウリは繁殖力が非常に強く、今後 5 年ほどかけて地道に駆除する必要があることなど、森の生態系や外来種の影響について学ぶ貴重な機会となりました。

「サンクゼールの森」の多様性を維持していくために

当日は 30 度近い気温の中、休憩を挟み約 2 時間の整備活動を行いました。繁茂するアレチウリの勢いは想像以上。ヤブの中を分け入り、木にしぶとく絡みつくアレチウリを鎌やノコギリなどを使い手作業で駆除する作業は、これまでの整備活動と比較してもハードなものでした。それでも、参加したパートナーからは「自然の中で汗をかいて活動するのは気持ちいい」「来年もアレチウリ退治に参加したい」といった声が寄せられました。

整備を始めとした森林保全活動は、自社の森への愛着を育み、貴重な学びを得ることができる機会となっています。私たちは今後も「アレチウリ退治大作戦」を継続的に実施し、「サンクゼールの森」の多様性を守るために、地道な活動を積み重ねていきます。